

「住宅ストック6,000万戸をどう住みこなすか」

高齢化、人口減少が進む中、日本の住宅ストックは6,200万戸を超え、そのうち空き家は約850万戸、空き家率は13.6%に及んでいる。老朽化した空き家は地域に悪影響を及ぼし、社会問題化する一方、国富ともいべき住宅ストックが有効に活用される機会を逸している点も見逃せない。今後、世帯数も減少に転ずるなか、構造的に空き家は増加することが避けられない。新築住宅中心の市場から既存住宅活用型市場への転換は必ずしも進んでいない。一方、情報インフラの進展や、自動運転等のモビリティ革命は、時間や場所に縛られない新しい働き方、新しい流通や住宅関連サービスをもたらし、さらには今後の住まいや今後の住宅の使い方に大きな変化をもたらす可能性があると考えられる。「住宅ストック6,000万戸をどう住みこなすか」について、事業者の視点、居住者（人間）の視点、技術・空間の視点から考察し、展望するとともに、今後に向けて、共通の理解を深める機会としたい。

開催日：令和2年3月5日（木）

13:30~16:35（受付開始 13:00）

会場：霞ヶ関プラザホール

（東京都千代田区霞が関3-2-5 霞ヶ関ビル1階）

定員：250名 参加費：無料

主催：一般財団法人 ベターリビング

後援・協賛（予定）：国土交通省、（独）住宅金融支援機構、（独）都市再生機構
（一財）高齢者住宅財団、（一社）住宅生産団体連合会、（一社）住宅リフォーム推進協議会、（一社）JBN・全国工務店協会、（公社）日本建築士会連合会、（一社）日本建築士事務所協会連合会、（公社）日本建築家協会、（一社）日本ガス協会、（一社）不動産協会、（一社）ベターライフリフォーム協会、（一社）リビングアメニティ協会

シンポジウムへの申し込み

<https://www.cbl.or.jp/info/520.html>

シンポジウムは、上記ページ内の申し込みフォームより、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。事務局からの参加受付メールをもってお申し込み完了となります。

お申し込み期限：令和2年2月28日（金）

お申し込み期限前であっても、定員（250名）に達した場合は締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

お問い合わせ先：（一財）ベターリビング サステナブル居住研究センター
TEL 03-5211-0585



プログラム

開会挨拶・趣旨説明	13:30~13:40	主催者
第1部 講演 1	13:40~14:10	「住宅市場の現状と課題」 TOTO株式会社 代表取締役 会長 張本 邦雄氏
講演 2	14:10~14:40	「人間の本质からみた住まいと暮らし方の未来」 千葉大学 大学院 教授 下村 義弘氏
講演 3	14:40~15:10	「ネット空間を含めた空間の利活用」 東洋大学 情報連携学部 学部長 坂村 健氏
	15:10~15:20	休憩
第2部 パネルディスカッション	15:20~16:30	「住宅ストック6,000万戸をどう住みこなすか」 ファシリテーター：首都大学名誉教授 深尾 精一氏 パネリスト：TOTO株式会社 代表取締役 会長 張本 邦雄氏 千葉大学 大学院 教授 下村 義弘氏 東洋大学 情報連携学部 学部長 坂村 健氏
閉会挨拶	16:30~16:35	主催者

* 各講演の演題は仮題です。

会場アクセス

霞が関ビルディング

〒100-6001
東京都千代田区霞が関 3丁目2番5号

- ・東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅 徒歩 3分
- ・東京メトロ丸の内線・千代田線・日比谷線「霞が関」駅 徒歩 5分
- ・東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王」駅 徒歩 6分

